

全国林業グループコンクールについて

1 全国林業グループコンクールの概要

(1) 目的

林業技術の向上・林業経営の発展のため、自主的な集団活動を行い地域の振興・活性化を図っている全国の林業グループ（854 団体）の成果等を発表・討議し、相互の資質向上を図るもの（主催：全国林業研究グループ連絡協議会）。

(2) 今回のコンクール

- ・全国 6 ブロック（北海道・東北、関東・山梨、中部・北陸、近畿、中国・四国、九州）から選ばれた代表 6 グループが活動事例を発表。
- ・大江町光林会は、北海道・東北ブロック代表として発表し、農林水産大臣賞（最高賞）を受賞。
- ・2月29日（木）に東京都で活動発表が、3月1日（金）に表彰式が行われた。

2 受賞者の概要

(1) 大江町光林会（大江町）

- ・昭和 56 年 4 月に設立。木材の価格が安く、山に光をあてようと「光林会」を設立。
- ・現在の会長は、會田幸子氏。会員数は 25 人（男 21 人、女 4 人）。
- ・林業に関する知識の向上と技術の習得に努め、林業の発展に寄与することを目的に活動を展開。

(2) 発表内容等

- ・テーマ「スマホを持って所有林を探しに行こう」
- ・内 容：スマートフォンの地図アプリに地籍データを表示させ、所有林を探す方法や山林相続の基礎知識を学ぶ研修会活動を実施。

3 本県の受賞状況

本県では、平成 24 年度以来、11 年振りの農林水産大臣賞受賞。